



広大な風景が広がるコムカラ峠

## ②コムカラ峠

バスは駒里地区を離れ、東千歳地区に向けて走ります。車内では千歳の農業にちなんだクイズが出され、和気あいあいとした雰囲気になります。

移動の途中、千歳市街地から恵庭市までを一望することができます。「コムカラ峠」に立ち寄り

ました。澄みきった青空の下、参加者は、眼下に広がる広大な風景を楽しみました。

## ③ガイア農場

バスは協和地区のガイア農場に到着しました。ガイア農場は5年前に全国からさまざまな職業の方が集まり農業法人を設立し運営している農場です。

自然環境に逆らわない農業を目指して化学肥料を使わない野菜づくりから始め、今は10ヘクタールほどの土地で農業や動物病院、国際交流事業などを行っています。

今回は、積極的に取り組んでいる養豚について担当の浅野さんからお話を聞きました。



ガイア農場前庭で農場の浅野さんから説明を受ける参加者



放牧豚の説明を受ける参加者。広い区画で自由に動き回る豚はとても健康的です。

見学した豚の放牧場は、30メートル四方に区域が分けられ、豚はその中で10頭程度ずつ飼育されています。緑に囲まれた自然環境の中、広い敷地で自由に動き回っていました。参加者は、安全で安心な養豚を目指す姿勢に皆納得していました。

「農場では、毎年、海外からの研修生を招待し、手づくり料理などでもてなし、みんなで楽しむ『ガイア祭り』を行っています。200人規模で行いますので、機会があればぜひ参加して交流を深めてほしい」と浅野さん。農場の幅広い活動に参加者は驚きの表情で話に聞き入っていました。

ガイア農場の説明をいただいた浅野さん。「安全な豚の飼育にこだわっています」



豚は警戒心が強くストレスがたまりやすい動物です。豚の飼育は、狭い豚舎で行われていることが多く、病気を予防するためにワクチンなど必要になります。ここでは、自然の中でいきいきと育てストレスのない豚にしようと、外で放牧しています。豚舎は冬場に寝るだけの小さな小屋にし、ほぼ1年中外で飼育しています。農場内の放牧区域を10区画に分け、豚をグループごとに飼育しています。えさは道内産の麦や小麦、米などのほか、チーズも与えています。体臭を減らすために炭も与えています。ワクチンなどはしていませんが、ストレスがかからないため、病気になる抵抗力の強い豚が育っています。